

## 農作物の育成状況など

4月から5月にかけての異常低温、日照不足で農作業は平年より1週間から10日ほど遅れました。

基幹作物である水稻は、平年並みの4月11日ころから種まき作業が始まりました。

低温の影響で苗に立ち枯れの発生が見られ、生育状況は平年より4日ほど遅れましたが、



田植え作業風景

田植え作業は5月14日ころから始まり、終期も平年並みとなりました。

本年度から本格実施となる「農業者戸別所得補償制度」は、米に対する助成のほかに、転作に対する助成の「水田活用の所得補償交付金」や「畑作物の所得補償交付金」が創設され、重点戦略作物を中心とした県の「政策転換対応型農業支援事業」と併せて4月から運用されています。

また、「新規需要米の作付け」については、本年度も国の交付金に加え「大

館市飼料用米等作付支援事業」と合わせた助成体系により、認定農業者65人、集落営農4組織、その他農家32戸で、作付面積は昨年度の約1.6倍の158haとなっています。

野菜は、山の芋の機械植え、手植えとも6月5日ごろに定植作業が終了。アスパラガスは、生育が例年より10日ほど遅く、5月16日から本格的な収穫作業が始まりました。

果樹は、ナシの幸水、豊水が平年より6日遅い5月13日ごろ、リンゴの王林、ふじは平年より1週間から10日遅い5月18日ごろ満開となり、開花量は、ナシはほぼ平年並み、リンゴはやや少ない状況です。

## 地域おこし協力隊と連携した地域活性化事業

地域活性化のための施策として、昨年度から国の事業を活用して大葛地区に2人の「地域おこし協力隊員」を派遣しています。本年度は、越山地区からの要望を受けて協議しています。

この貴重な外部人材のさらなる活用とその定住化に向けた新たな地域活性化対策として、「地域力創造のための起業家定住促進モデル事業」外部専門家活用事業への取り組みを検討しているところです。

今後、市内全域の活性化に向け、地域応援プランなど様々な取り組みを全庁体制で推進してまいりますので、ご協力をお願いします。

## 大館市工場等設置促進条例に基づく指定工場の現況

経済・雇用情勢の悪化により、一部の条例指定工場については従業者数の減少が見られますが、昨年6月のニプロ株式会社大館工場第5工場の本格操業時に約50人、本年4月にさらに約80人が雇用されたことにより、4月1日現在では63事業所、4464人の従業者数となり、昨年同期と比べ103人の増加となりました。

今後企業誘致による雇用創出に全力で取り組みます。

## コンポストセンター改修工事完了

大館市コンポストセンターは、平成13年度の稼働開始から10年が経過したことから、機械設備の腐食や故障が多く、修繕費のかけ増しや稼働率の低



完成した縦型密閉式発酵処理装置

下などにより堆肥生産に支障が出てきました。

このため、22年度予算に9600万円余りの事業費を計上し、4月28日に改修工事が完成しました。

主な工事内容は、「縦型密閉式発酵処理装置」2基の設置と攪拌機のスクリーン方式への変更、脱臭施設のフィルター材の変更などで、維持管理費の節減と臭い的大幅な軽減が見込まれています。

また、処理能力に余裕があることから、他の養鶏場などからの受け入れの可能性についても調査したいと考えています。

## そのほかの報告

- ・ 第4次大館市行政改革大綱実施計画の進捗状況
- ・ 地上デジタル放送への対応状況
- ・ 平成22年度の決算見込み
- ・ 公共事業の発注計画
- ・ 秋田県国保連合会の市町村拠出金算定の誤り
- ・ 環境マネジメントシステムの取り組み状況
- ・ 待機児童解消に向けた認可保育園の新設
- ・ 木質ペレットの普及に向けた取り組み
- ・ 山田記念ロードレース大会
- ・ 全国高等学校総合体育大会
- ・ DPCの取り組み状況
- ・ 住宅用火災警報器の設置状況